

《セレモニー》



プロ野球キャンプと市民利用の新拠点 西崎多目的スポーツ施設 供用開始セレモニー



9月17日(木)、西崎多目的スポーツ施設供用開始セレモニーが行われました。同施設は、低年齢の子どもを対象とした遊具やボルダリング壁が整備され、市民の健康増進に考慮された設計となっており、地域活動の場として活用が見込まれているほか、プロ野球チームのキャンプ中には投球練習場としても利用されます。セレモニー当日は、参加した市内こども園の園児らの笑顔と楽しそうな声が施設に広がりました。

《表敬》



感謝を胸に、友好都市でプレー！ AGMカップ2026 ～厚木市長旗杯U-11～出発報告

9月21日(月)に友好都市の厚木市で行われる、AGMカップ2026～厚木市長旗杯U-11～に出場する児童らが、9月17日(木)に市役所を訪れ、當銘市長と屋良教育長へ出発報告を行いました。同大会へ派遣されるメンバーは市内で活動する各少年サッカークラブから構成されており、メンバーを代表してグランフォルティス沖縄jrの松村笑琉さんは「感謝を胸に、精一杯プレーしてきます」と話しました。

《手交式》



これからも皆さんと一緒に 国登録有形民俗文化財 「糸満の漁撈用具」登録証手交式

3月に「糸満の漁撈用具」が国の有形民俗文化財に登録されたことに伴い、9月4日(金)に海のふろさと公園展示館で、同文化財を保管するNPO法人ハマスーキへ登録証が手交されました。登録証を手渡された同法人の喜納兼雅理事長は「これまで皆さんと一緒に守ってきたものが文化財となって、うれしく思います。これからも、多くの人とこの文化財を守り、受け継いでいきたいです」と笑顔を見せました。

《寄贈》



誕生おめでとう!かわいい親子手帳でお届けしてね! JA おきなわ糸満支店から 親子健康手帳ケース500個寄贈

9月4日(金)、JA おきなわ糸満支店より「JA 共済オリジナル親子健康手帳ケース」500個の寄贈があり、市役所で贈呈式が行われました。この取り組みは、JA 共済の地域貢献活動の一環として毎年行われているもので、今年で10回目になります。新垣勤糸満支店長は「小学生になってもケースを使っている人がいると聞いてうれしいです。子育てに役立ててほしいです」と笑顔で話しました。

《出発式》



交通事故のない安全安心なまちへ 秋の全国交通安全運動出発式

9月24日(木)、市役所で秋の全国交通安全運動出発式が行われました。同運動は「それいいね 夜道にきりり 反射材」を運動スローガンに、9月21日(月)から9月30日(水)まで10日間にわたって全国一斉に展開されます。出発式で當銘市長は「本日の出発式をきっかけに、市民一人一人が交通事故防止の決意を新たに、事故のない明るい糸満市とともに築くことをお願いいたします」と話しました。

《慶祝訪問》



ちゃーがんじゅーしみそーりよー! 新100歳長寿者慶祝訪問

9月21日(月)の敬老の日に、新100歳長寿者慶祝訪問が行われ、當銘市長が本年度、新100歳を迎える市民14人の中から、字武富の大城富子さんのもとへ訪問し、長寿を祝いました。多くのご家族に見守られながら、當銘市長から内閣総理大臣祝状や記念品の銀杯を手渡された大城さんは、「盛大に祝っていただき、ありがとうございます。市長も100歳まで元気に頑張ってください」と笑顔を見せました。

《催し》



ゲームを通して、世代を超えた交流 知的・発達障がい者ぷよぷよeスポーツ全国・交流プログラム

9月12日(土)と13日(日)、知的・発達障がい者ぷよぷよeスポーツ全国・交流プログラムがシャボン玉石けん くくる糸満で行われました。eスポーツを通して、障がいの有無や年齢、性別に関わらず交流を深め、参加者の自己肯定感の向上や、養育者の休息につなげることを目的に開催されました。當銘市長は「誰もが参加できるゲームを通して、自然な交流が生まれ、人生が豊かになると思います」とあいさつしました。

した。大会には、子どもから大人まで幅広い世代が参加。予選リーグ、決勝トーナメントでは、お互いの健闘をたたえながら熱戦を繰り広げました。決勝トーナメントは舞台上で行われ、大型スクリーンに対戦画面を映し、観客全員で応援しました。また、プロゲーマーのGorouさんと参加者代表によるストリートファイター6のエキシビジョンマッチも行われ、迫力ある格闘ゲームに会場は大いに盛り上がりました。